

令和4年10月26日

令和4年度病害虫防除技術情報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

アブラナ科野菜のチョウ目害虫の発生に注意して下さい

県北部でチョウ目害虫の発生が増加しています。今後、幼虫による被害が拡大する可能性がありますので、ほ場内での発生および被害状況を確認し、防除は発生に応じて早急に行いましょう。



写真1 ハスモンヨトウ（卵・幼虫） 写真2 オオタバコガ（幼虫） 写真3 ヨトウガ（幼虫）

1. 病害虫名：ハスモンヨトウ（写真1）、モンシロチョウ（アオムシ）、オオタバコガ（写真2）、ヨトウガ（写真3）
2. 対象作物：アブラナ科野菜
3. 対象地域：県北部
4. 加害時期：～11月
5. 発生状況

県北部のキャベツにおけるハスモンヨトウ、モンシロチョウ（アオムシ）、オオタバコガ、ヨトウガの10月中旬の発生ほ場率はそれぞれ50%（平成15%）、50%（平成10%）、38%（平成4%）、13%（平成1%）であった（図1）。

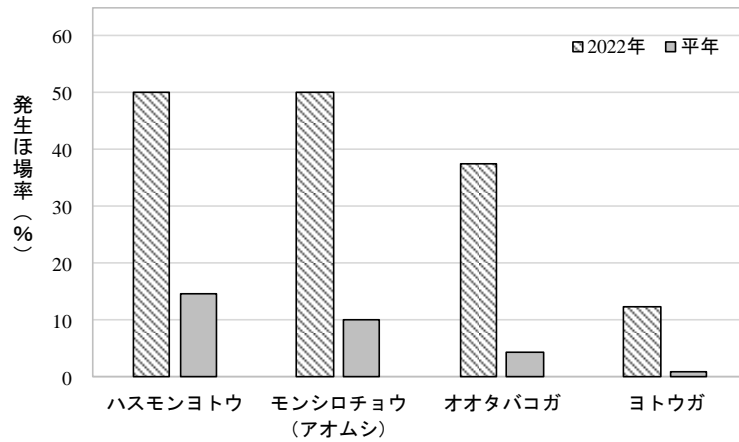


図1 10月の県北部のキャベツにおけるチョウ目害虫の発生

6. 防除対策

- 1) ほ場を見回り、チョウ目害虫の発生を確認したら直ちに防除する。
- 2) 幼虫は大きくなると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期の防除を徹底する。
- 3) 薬剤については、最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300